



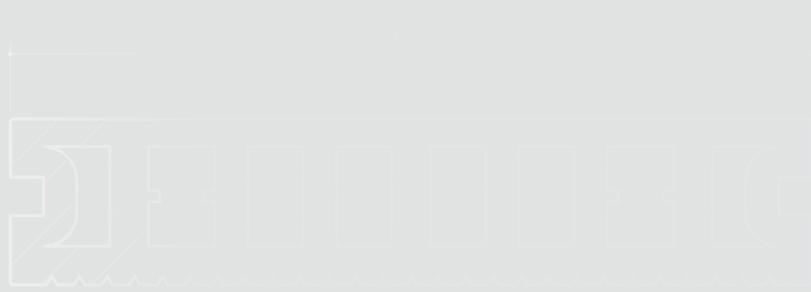
Kankyo- wood II

ENVIRONMENT-CONSCIOUS

LANDSCAPE DESIGN

MATERIAL

前田工織

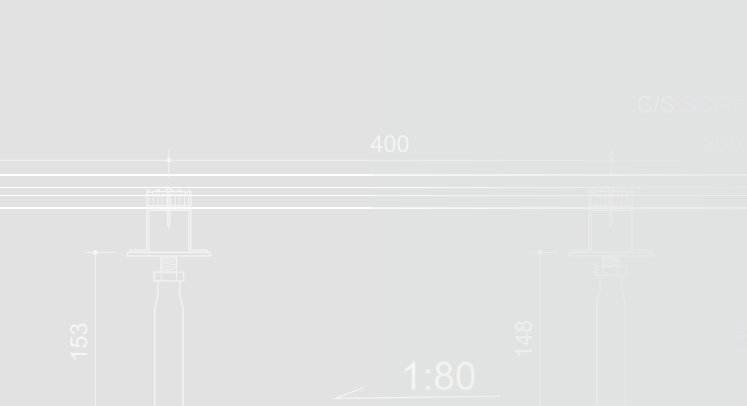


Handrail
Vertical Post
Base Plate

技術資料

50X50X3mm ANGLE FRAME

Å50 WEEPHOLE FRAME



部材一覧

24-29 部材一覧

1. デッキ
2. ルーバー
3. フェンス

納まり図

30-33 デッキ

1. 根太工法（シングル仕様）
2. 大引・根太工法（ダブル仕様）
3. 根太工法（低床仕様）
4. 大引・根太工法（高床仕様）

34-36 デッキ幕板

1. 根太工法（シングル仕様）
2. 大引・根太工法（ダブル仕様）
3. 根太工法（低床仕様）

37 点検口 取合図

38-39 ルーバー

1. 縦ルーバー
2. 横ルーバー

品質・性能

- 40 1. 基本性能
- 41 2. 防腐蚀性
- 42 3. 耐滑性
- 43 4. 帯電性

注意事項

- 44 Kankyo-woodII の特性
使用上の注意
- 45 お手入れについて
お手入れ方法



SCALE 1:5



木のぬくもりを感じる質感

デッキの表面にビスが出ないフラット設計

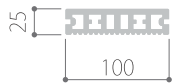
加工に優れており、メンテナンスも容易

リップ面 / フラット面両面使用可能

デッキ材

MKV01-100×25S

参考重量：2.2kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品



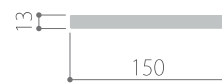
MKV02-145×30S

参考重量：3.8kg/m
標準寸法：2,000mm



MKV03-150×13M

参考重量：2.4kg/m
標準寸法：2,000mm



MKV04-145×25S

参考重量：3.1kg/m
標準寸法：2,000mm



MKV05-200×26M

参考重量：6.5kg/m
標準寸法：2,000mm



MKV07-145×30M

参考重量：5.5kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品



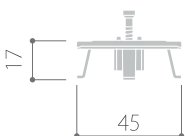
MKV13-145×30SL

参考重量：3.1kg/m
標準寸法：2,000mm

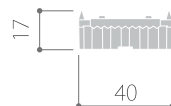


留具

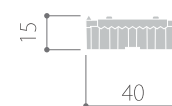
留具



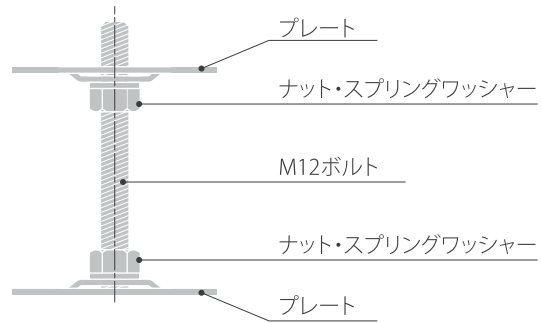
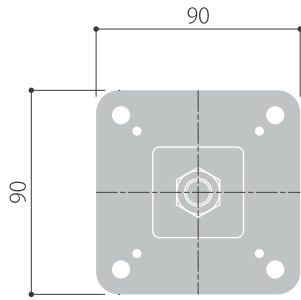
留具 -30用



留具 -25用



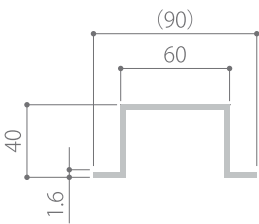
鋼製束



大引・根太用

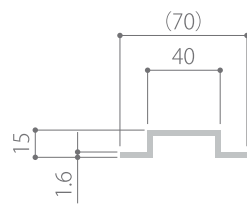
ハット型鋼板 1

高耐食性亜鉛めっき鋼板
大引・根太用



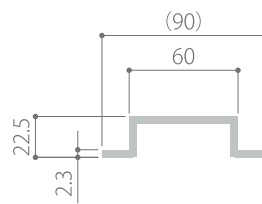
ハット型鋼板 2

高耐食性亜鉛めっき鋼板
根太用



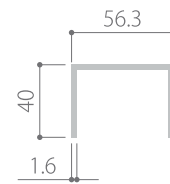
ハット型鋼板 3

高耐食性亜鉛めっき鋼板
根太用



C型鋼板

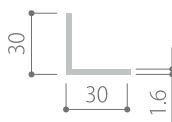
高耐食性亜鉛めっき鋼板
幕板用下地



その他部材

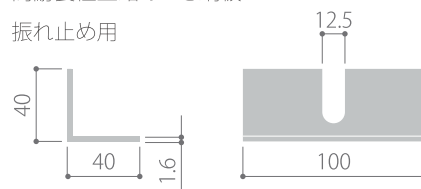
L型アンゲル

高耐食性亜鉛めっき鋼板
振れ止め用



L型金具

高耐食性亜鉛めっき鋼板
振れ止め用



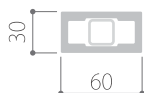


光や風、気になる視線もコントロール
機能性とデザイン性の融合
天然木と同様に加工可能
空間にアクセントを加えます

ルーバー材

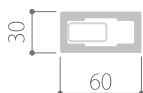
MKV09-60×30SA3

参考重量：1.5kg/m
標準寸法：2,000mm
20×20×2.0t アルミ芯材入り



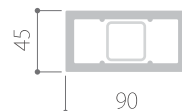
MKV09-60×30SA4

参考重量：1.4kg/m
標準寸法：2,000mm
30×15×1.5t アルミ芯材入り



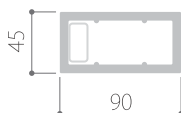
MKV10-90×45SA1

参考重量：2.5kg/m
標準寸法：2,000mm
30×30×2.0t アルミ芯材入り



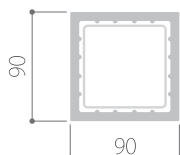
MKV10-90×45SA4

参考重量：2.2kg/m
標準寸法：2,000mm
30×15×1.5t アルミ芯材入り



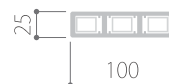
MKV11-90×90SA2

参考重量：4.4kg/m
標準寸法：2,000mm
70×70×2.0t アルミ芯材入り



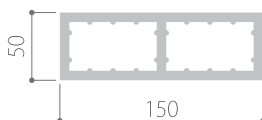
MKV12-100×25SL

参考重量：1.6kg/m
標準寸法：2,000mm
20×15×1.5t アルミ芯材入り



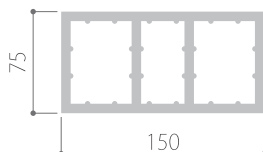
MKV17-150×50S

参考重量：3.9kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品



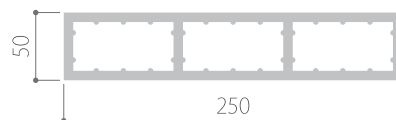
MKV18-150×75S

参考重量：5.1kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品



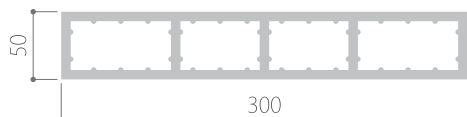
MKV19-250×50S

参考重量：6.1kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品

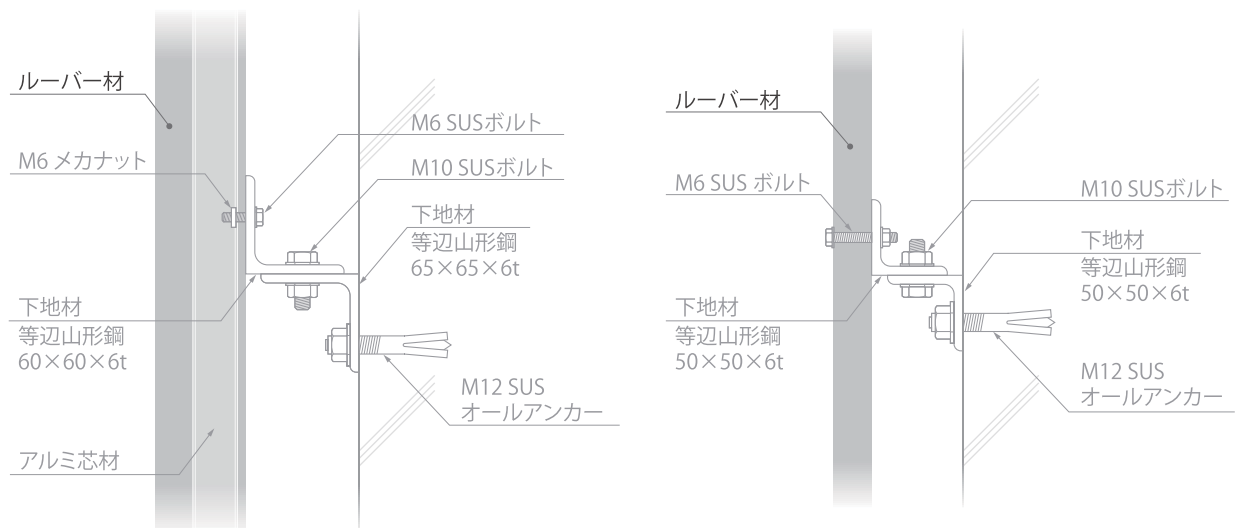


MKV20-300×50S

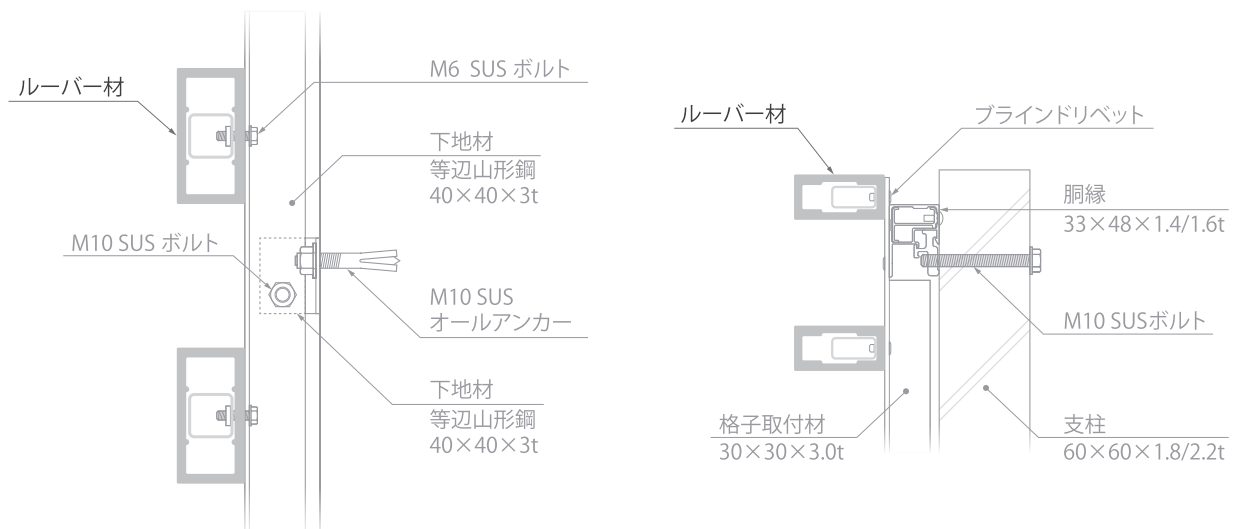
参考重量：7.1kg/m
標準寸法：2,000mm
※受注生産品



縦ルーバー



横ルーバー



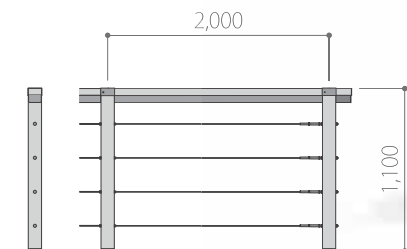
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変更となります。



Kankyo-woodIIを用いた、安全性に配慮したフェンスです。耐久性に優れており、街並みとの調和をはかるスタイリッシュなデザインとなっております。温かな木肌が手にやさしくフィットし、子供からシニアまで人々が安心して使用できるフェンスを提供します。

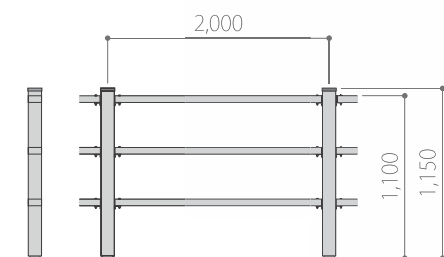
ワイヤータイプ KFWF-K1-2011

標準寸法：2,000mm×1,100mm
支 柱：Kankyo-wood II MKV11-90×90SA2
笠 木：Kankyo-wood II MKV10-90×45SA1
格 子：φ6ステンレスワイヤー

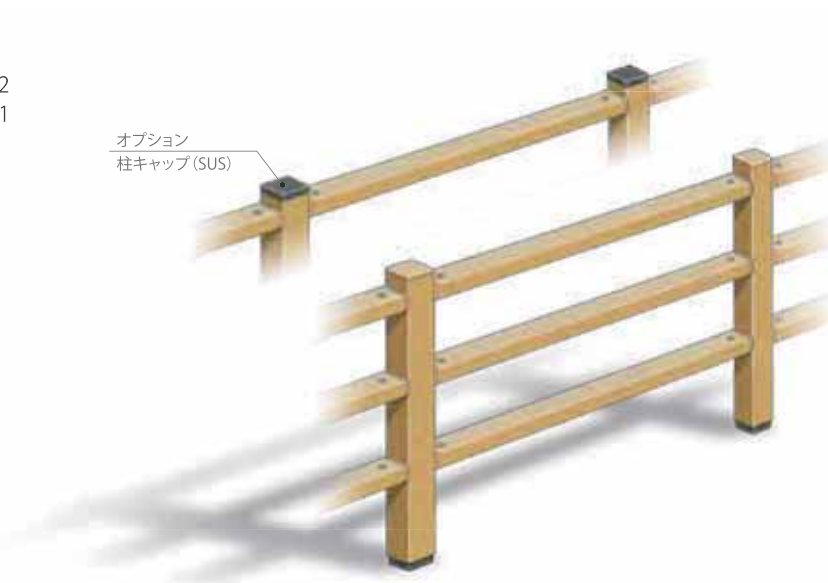


横ビームタイプ KWFB-K1-2011-3

標準寸法：2,000mm×1,150mm
支 柱：Kankyo-wood II MKV11-90×90SA2
横ビーム：Kankyo-wood II MKV10-90×45SA1

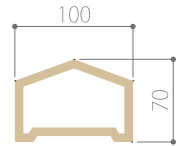


オプション
柱キャップ(SUS)



笠木 Kankyo-wood II MKV16-100×70SY

天面のゆるい勾配が手になじみ、もたれかかったときにひじが付きやすい形状となっております。
また、ペットボトルや缶等が置けない造りのため景観を汚される心配もありません。



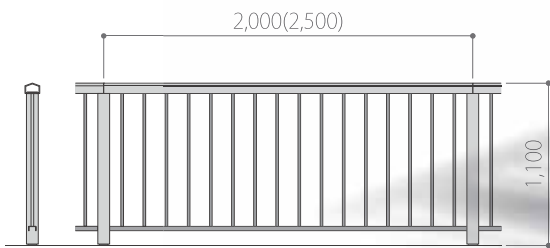
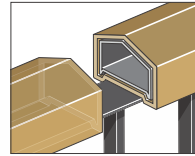
縦格子タイプ (アルミ仕様) KWFT-S1-2011
KWFT-K1-2011

標準寸法：2,000mm×1,100mm

支柱：Kankyo-wood II MKV15-80×80S

笠木：Kankyo-wood II MKV16-100×70SY

格子：アルミ形状



縦格子タイプ (Kankyo-wood II仕様) KWFT-K2-2011

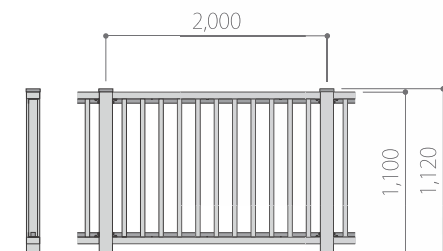
標準寸法：2,000mm×1,120mm

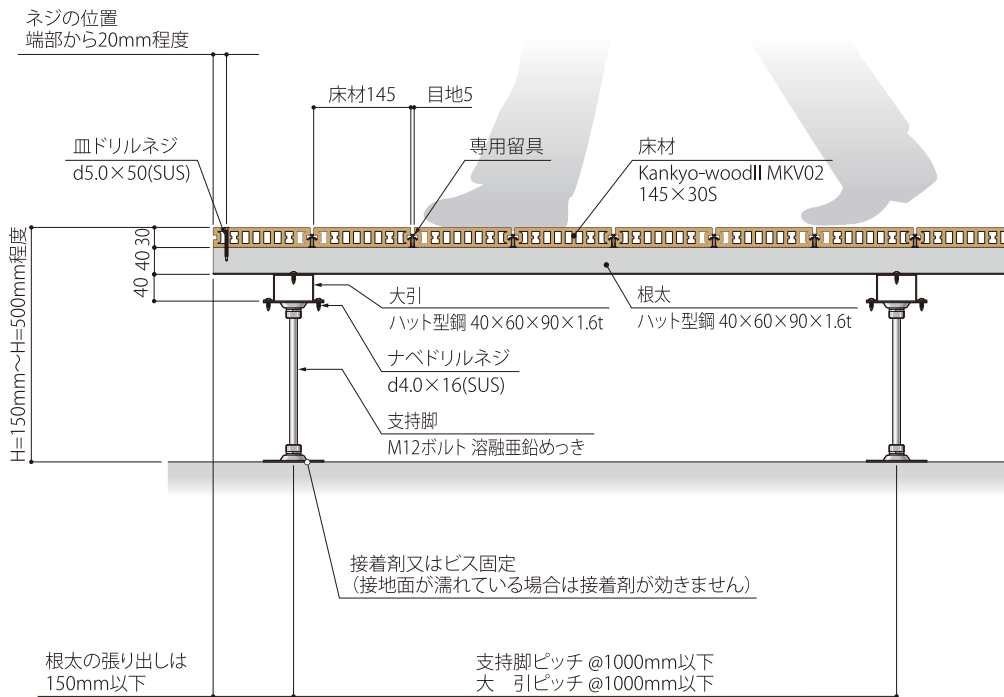
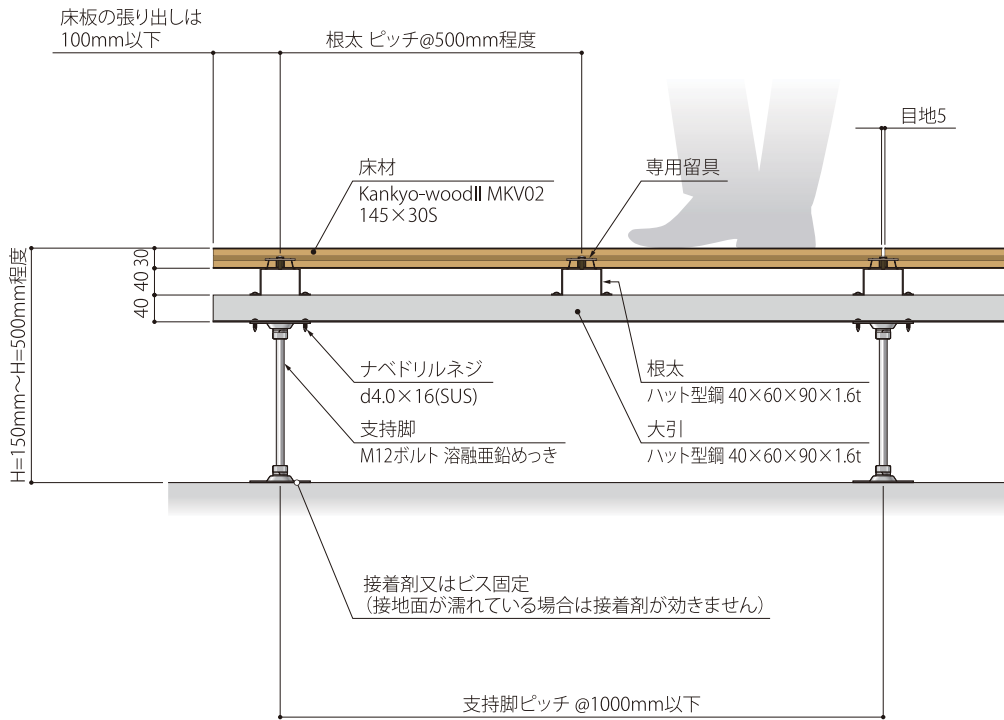
支柱：Kankyo-wood II MKV11-90×90SA2

笠木：Kankyo-wood II MKV10-90×45SA1

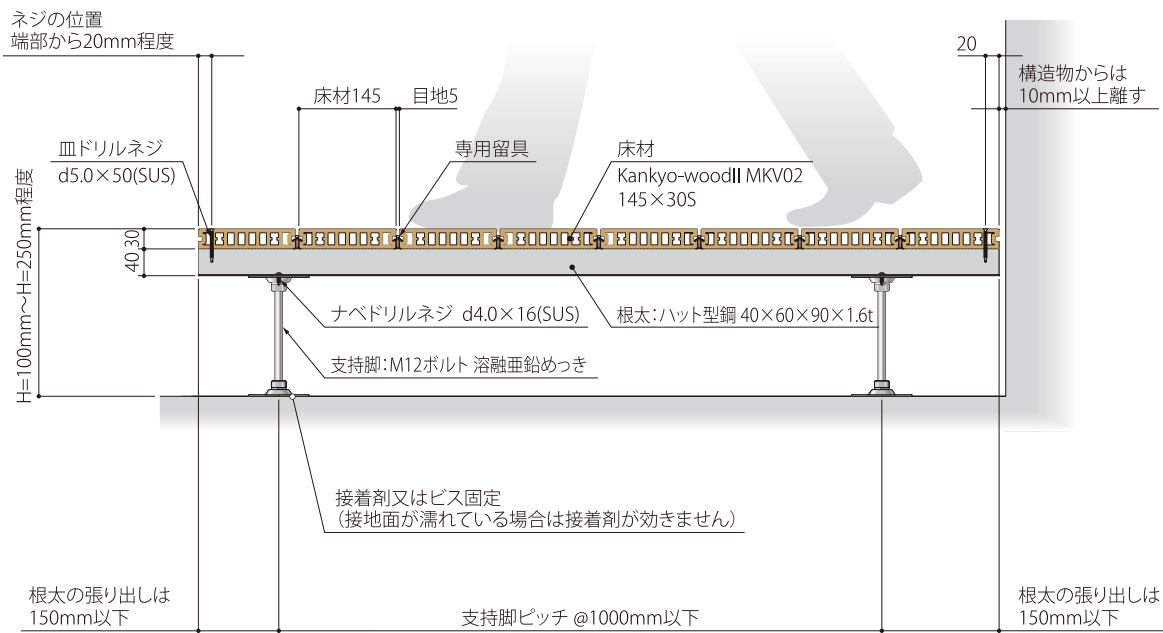
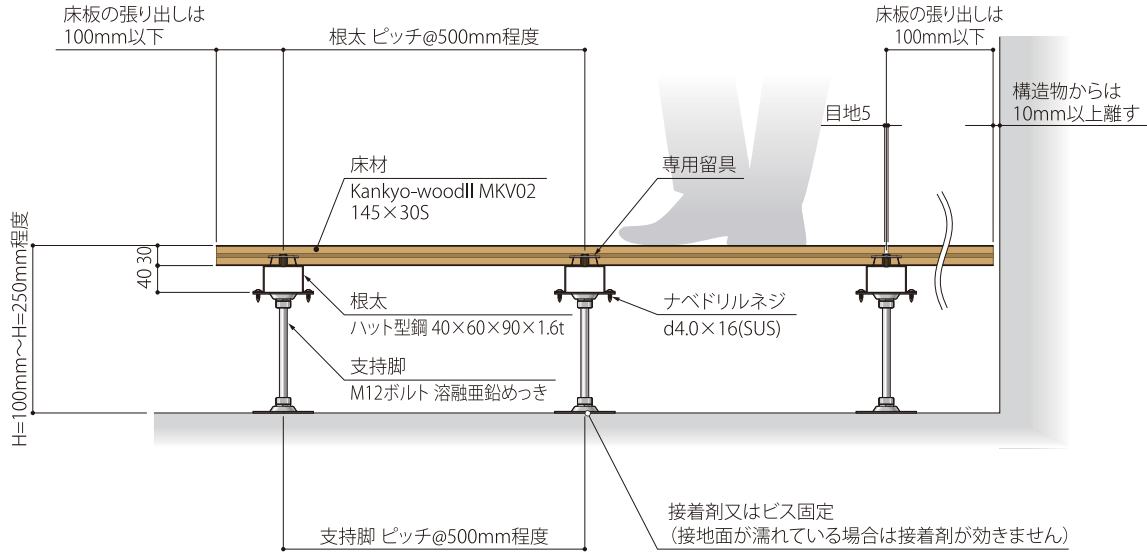
格子：Kankyo-wood II MKV09-60×30SA4

オプション
柱キャップ(SUS)

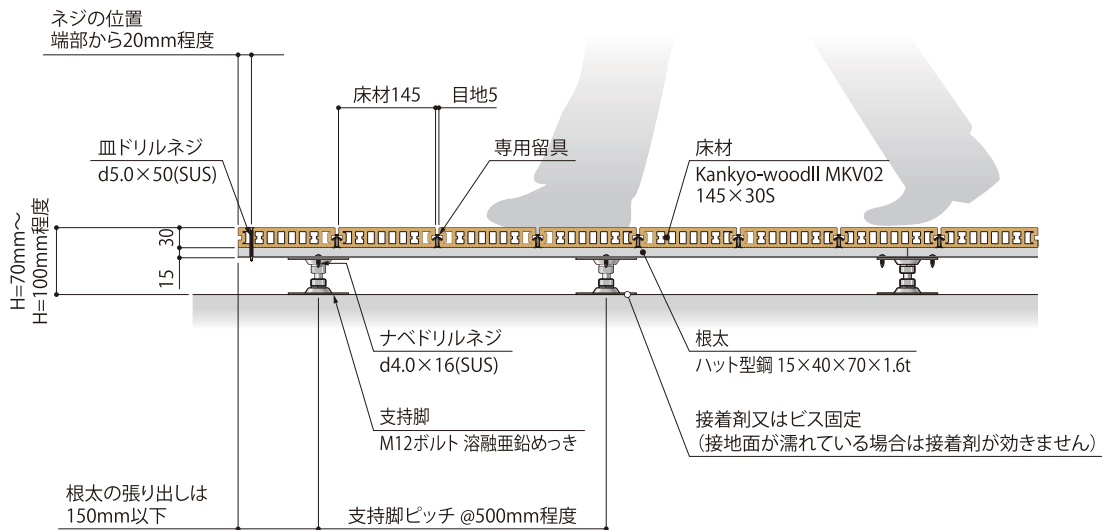
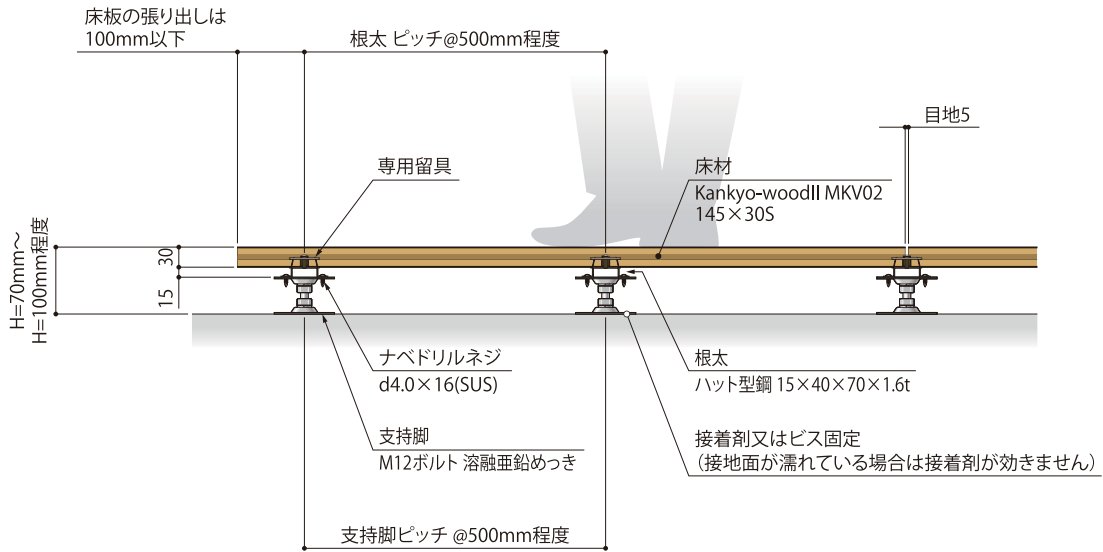




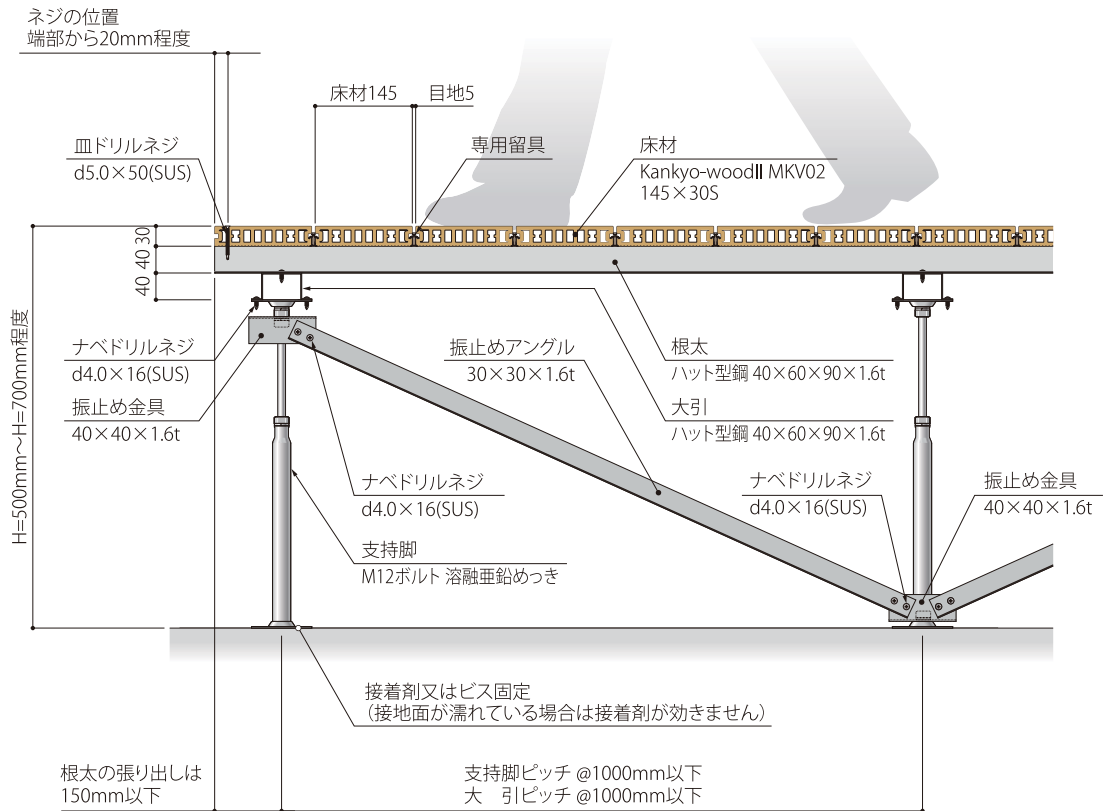
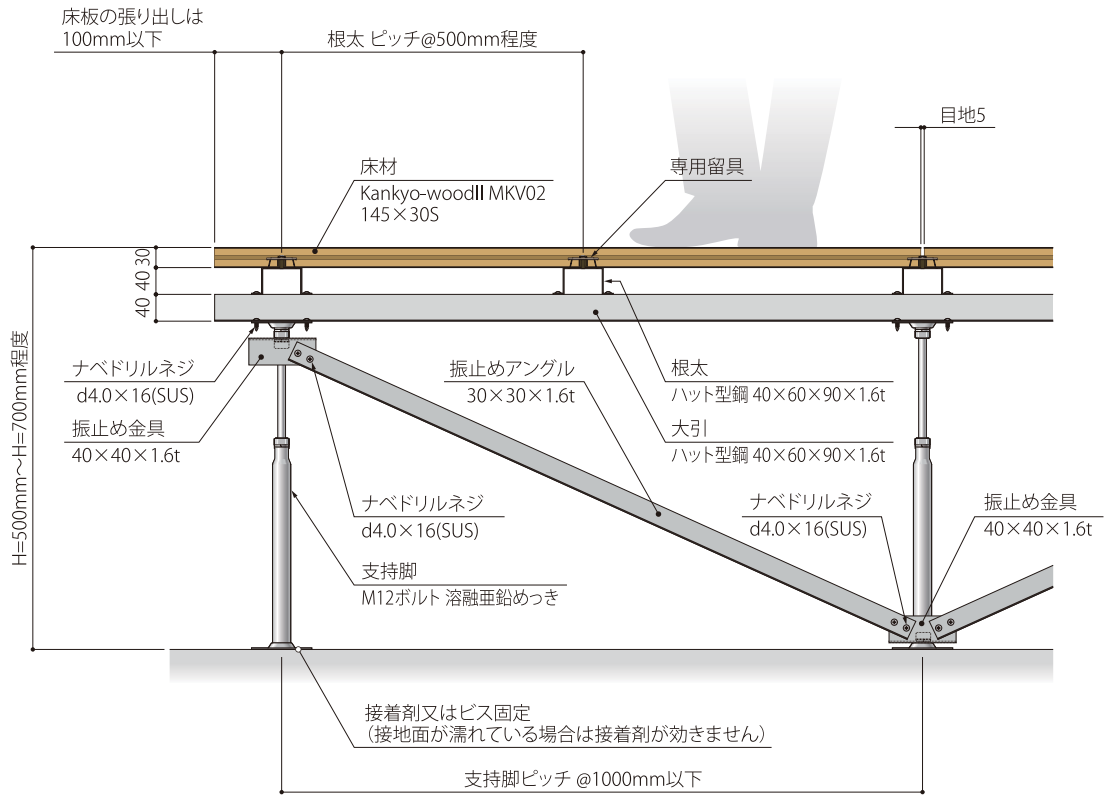
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。



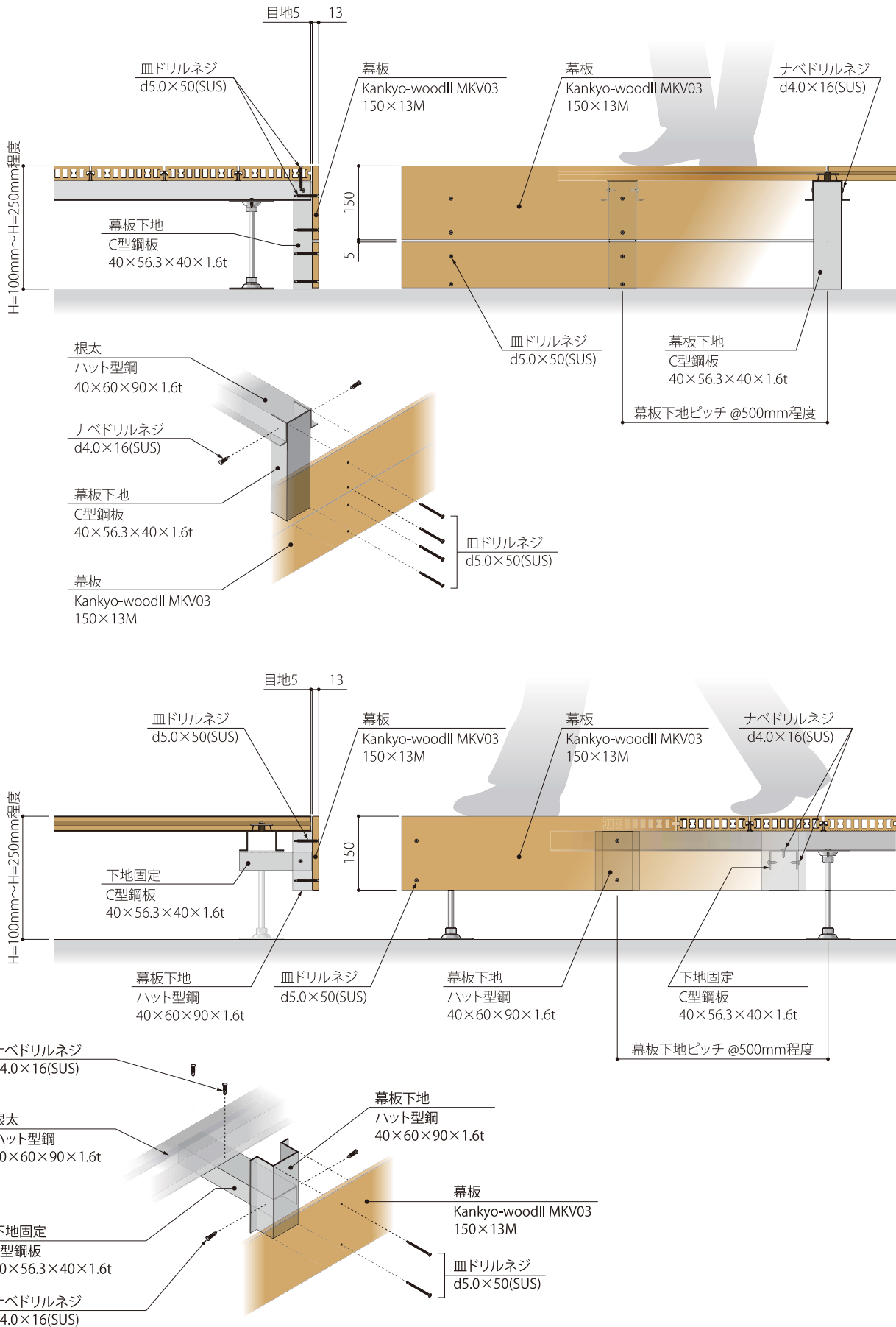
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。



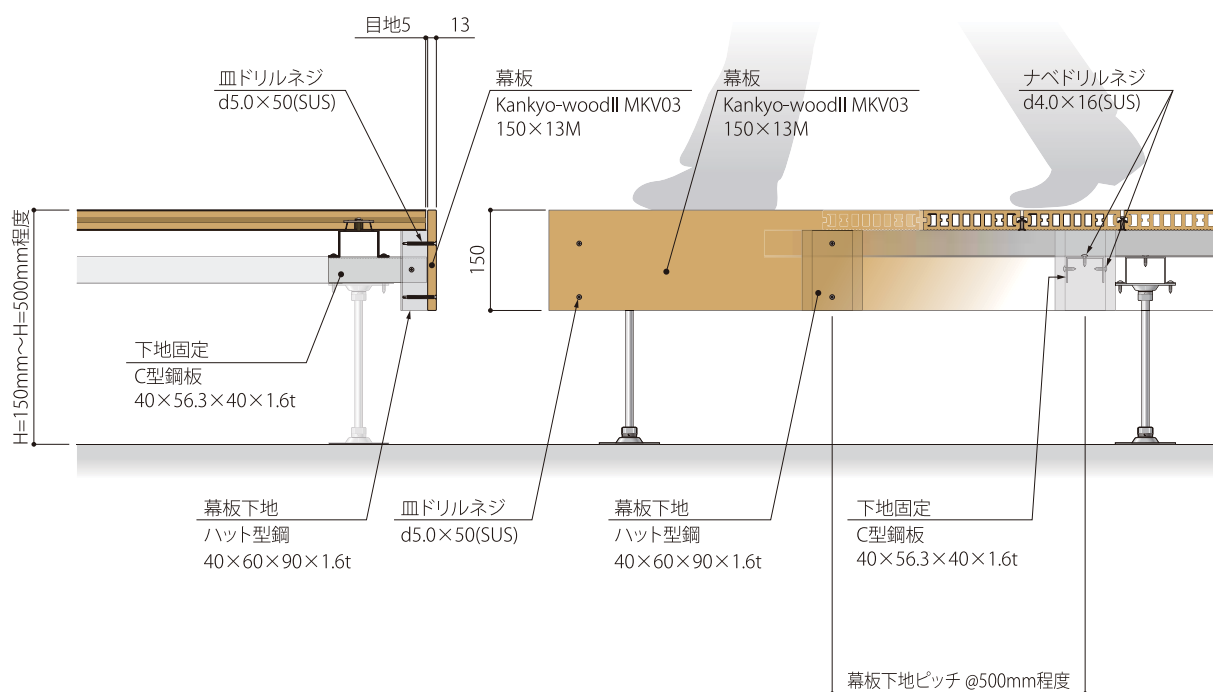
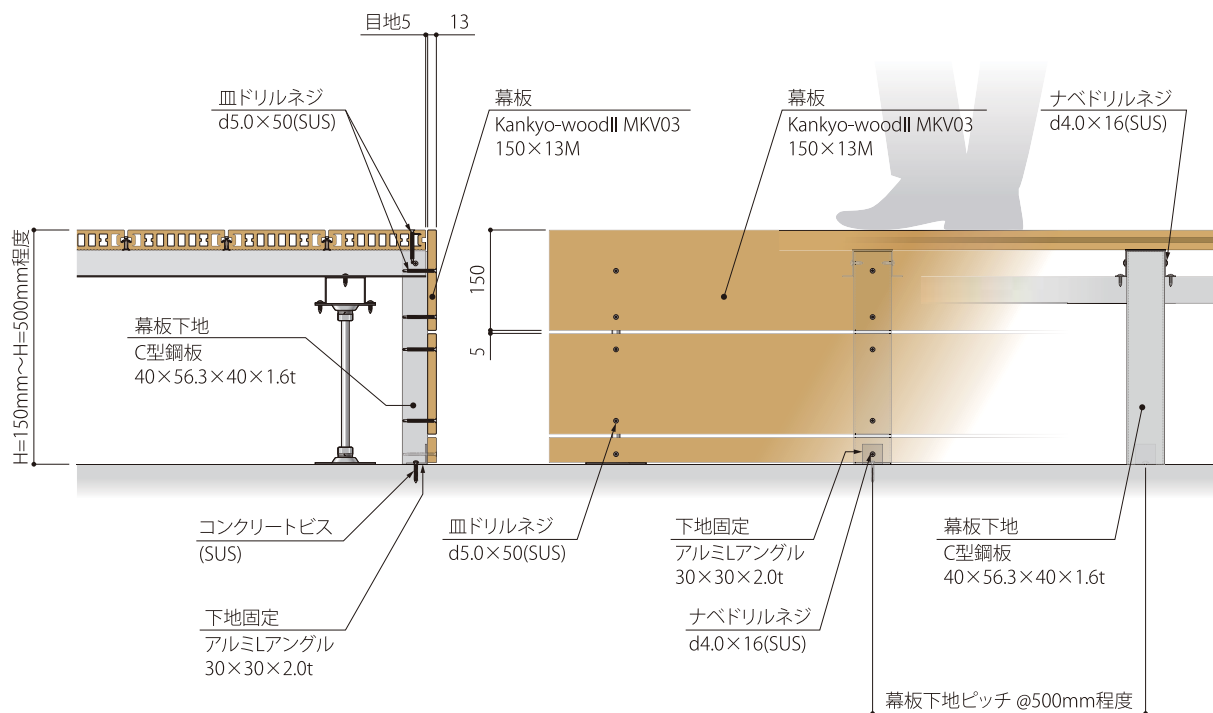
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。



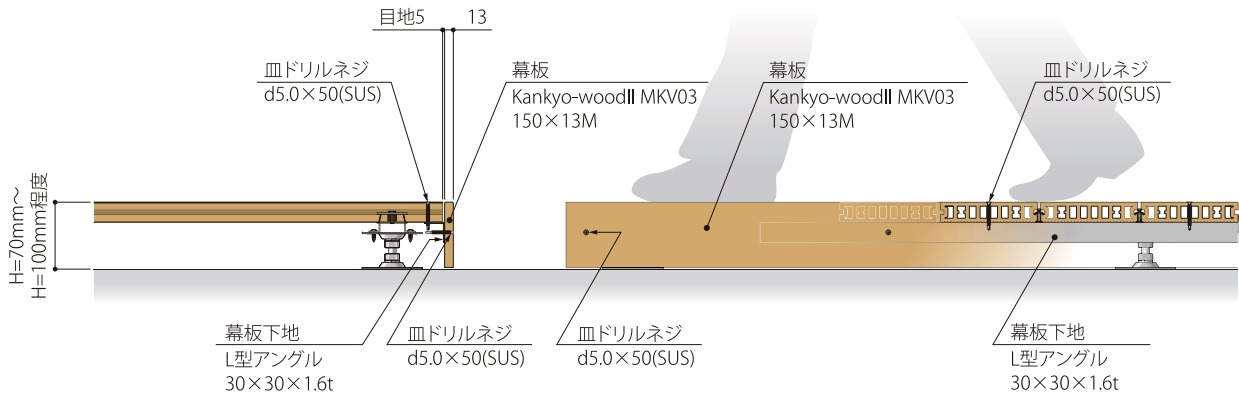
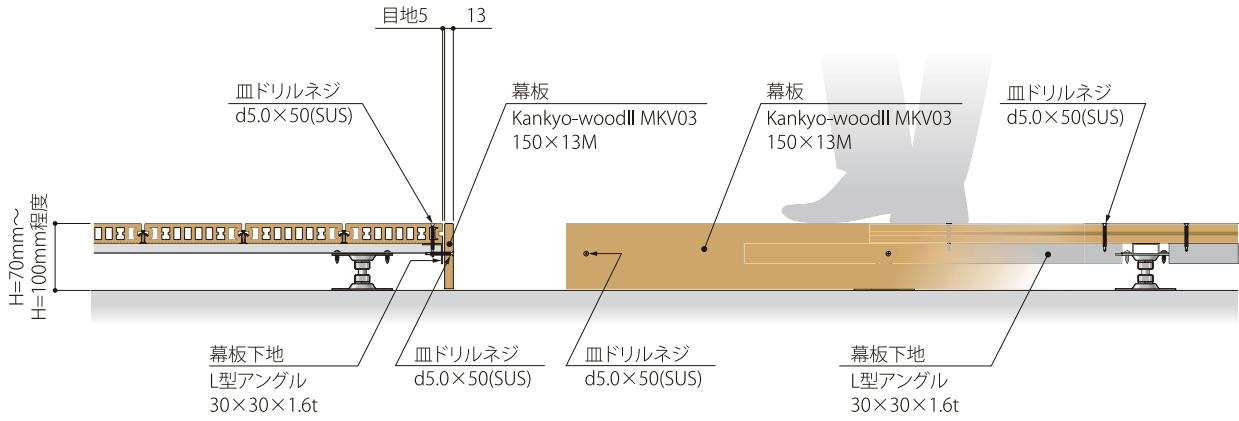
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。



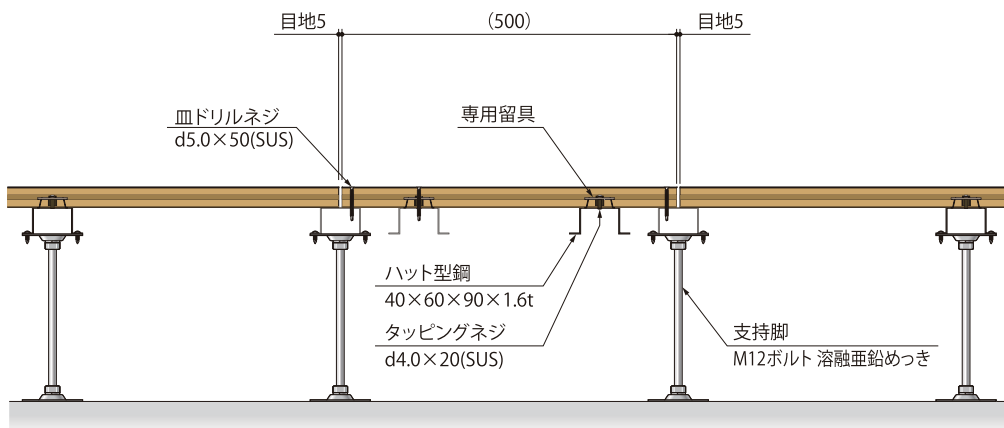
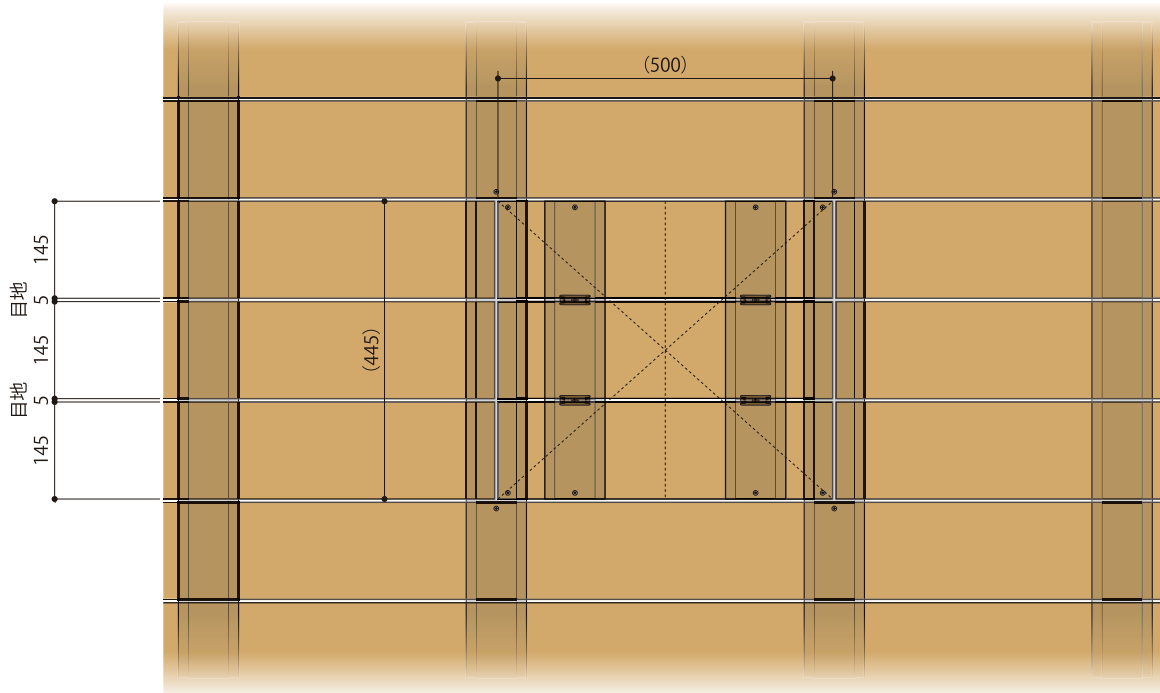
※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。



※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。

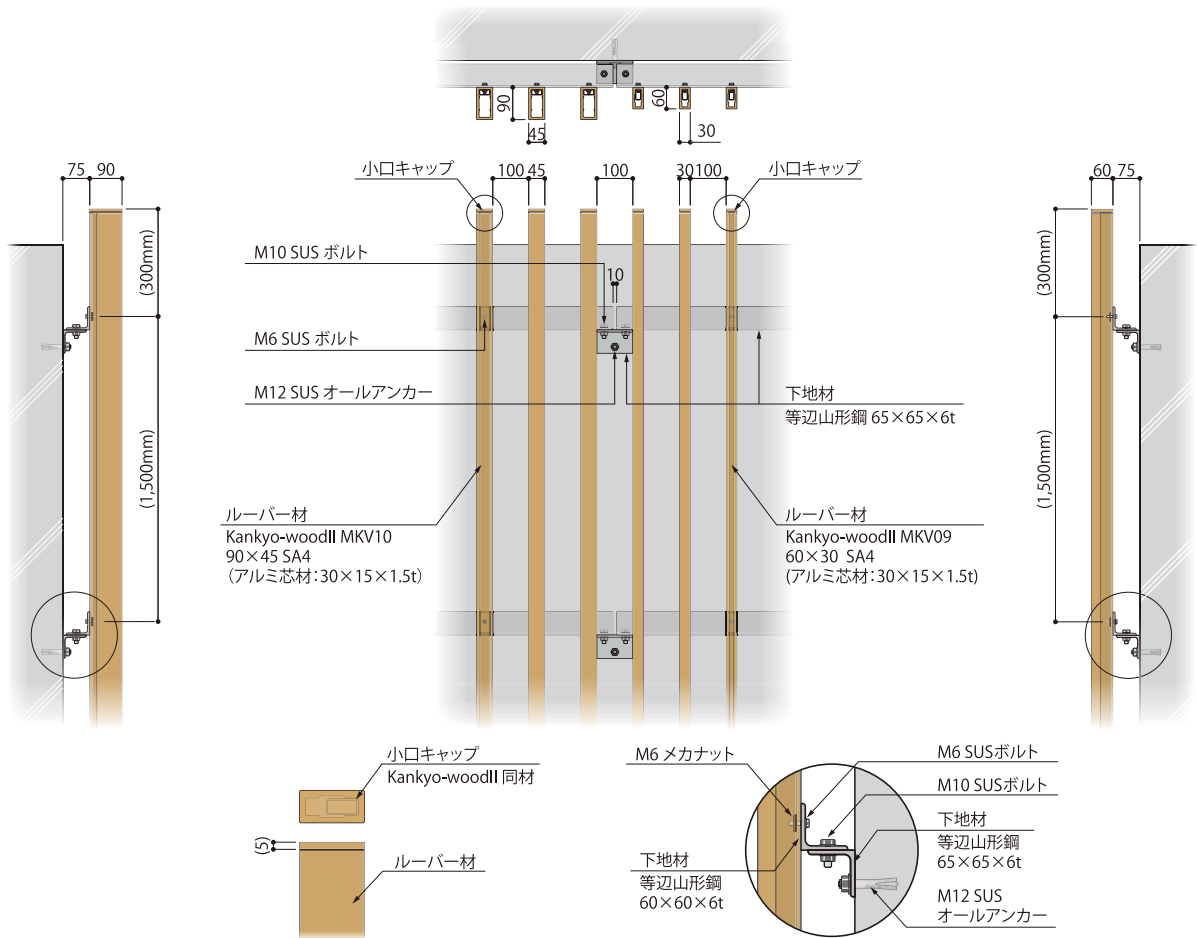


※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。

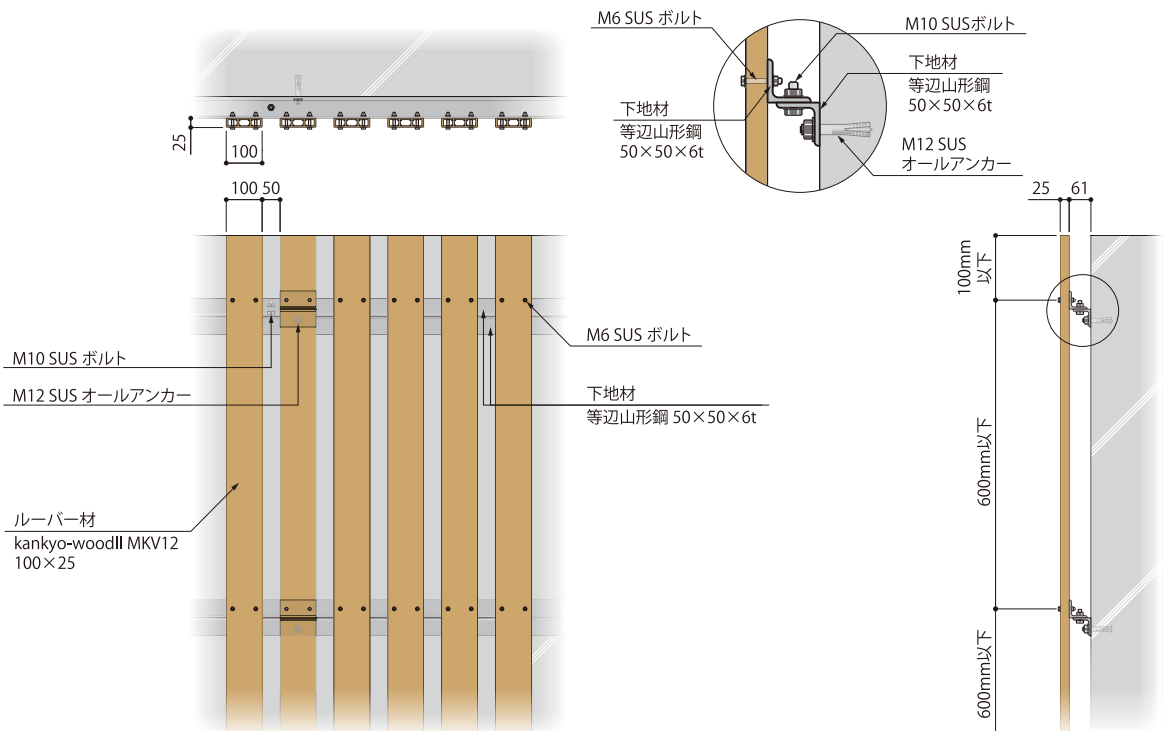


Kankyo-woodII MKV10

Kankyo-woodII MKV09

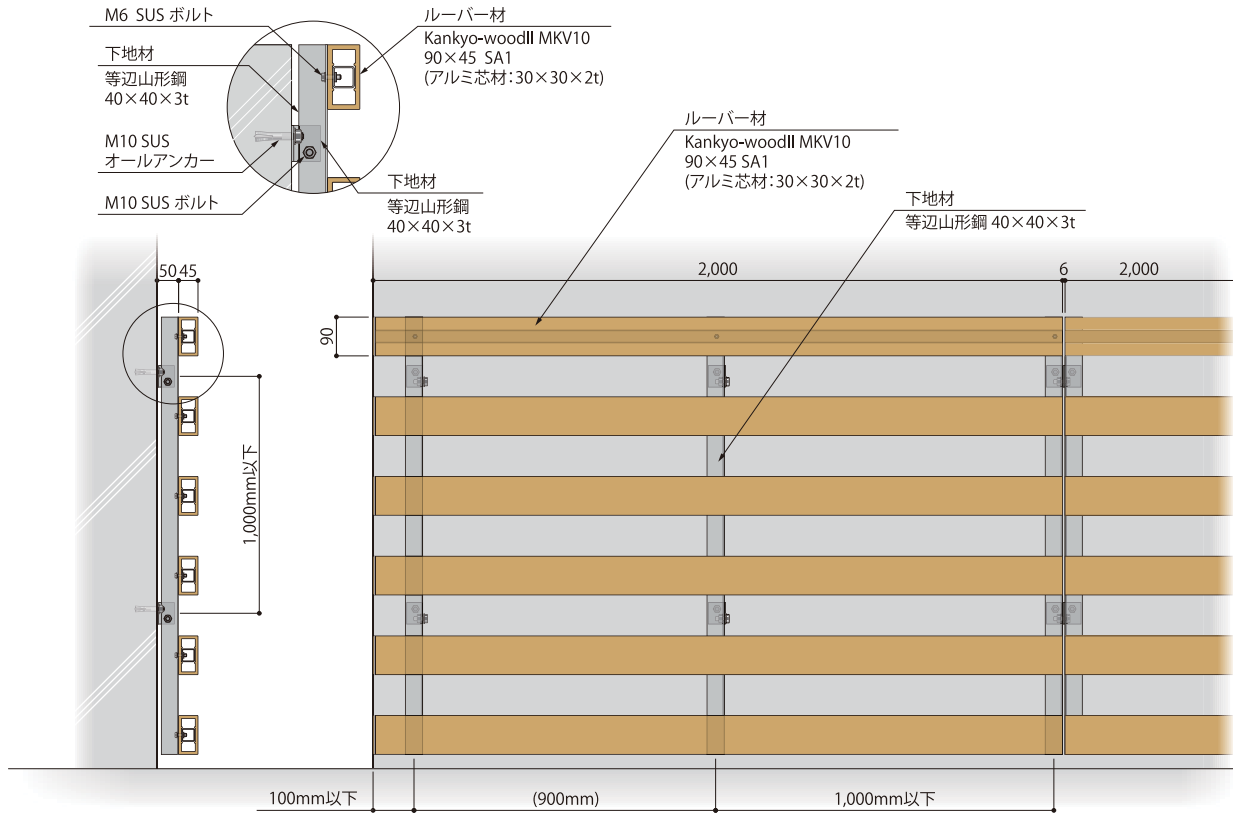


Kankyo-woodII MKV12

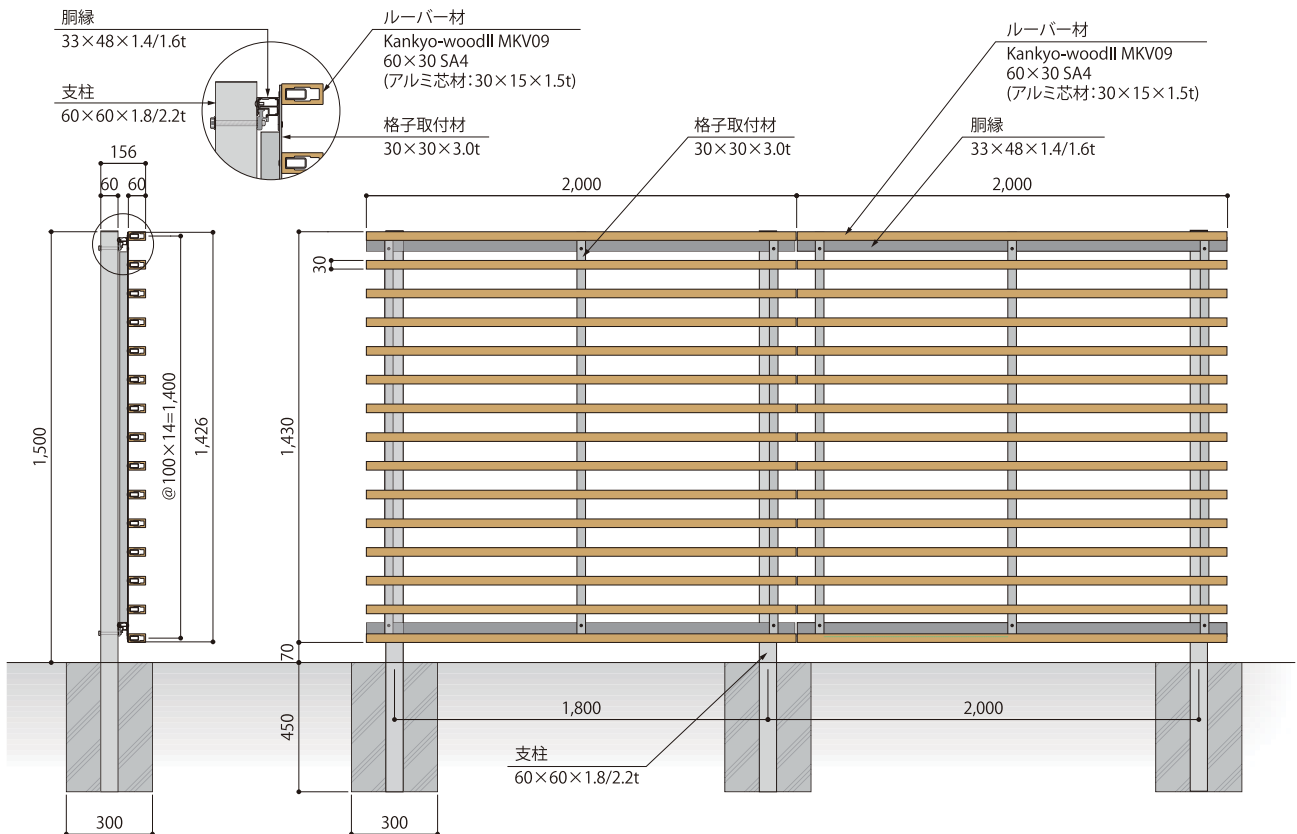


※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。

Kankyo-woodIII MKV10



Kankyo-woodIII MKV09



※ 上記詳細図は参考であり、実際の納まりは諸条件により変わります。

基本性能

プラスチックが木粉と木粉の間を埋め、表面を保護する構造となっているため、天然木に比べ耐水性がよく、細菌による腐食、シロアリによる食害がありません。環境にやさしいリサイクル製品であり、天然木の製材加工と比べて製造工程でのCO₂排出も最小限に抑えられます。また、新たな森林伐採を必要とせず地球温暖化防止にもつながり、サステナブル社会の実現に貢献しています。

押出成形品のため、材料のロスや原料の無駄な消費も極めて少なく、複雑な断面や自由な長さで成形でき、安定した品質でご提供します。

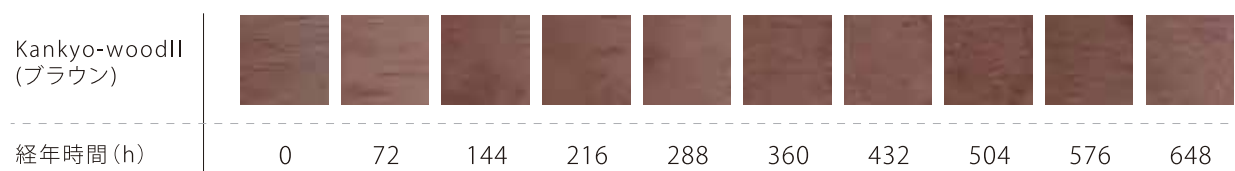
性能項目		Kankyo-woodIII	JIS A 5741適合値		
基本物性	密度・比重	真比重	1.3	0.8~1.5	
	吸水特性	吸水率(%)	0.5	10以下	
		長さ変化率(%)	長さ方向:0.0 幅方向:0.0	3以下	
		強度	曲げ強さ(MPa)	23.5	20以上
		衝撃強さ(kJ/m ²)	3.1	0.5以上	
	熱特性	荷重たわみ温度(°C)	86.4	70以上	
	耐候性	引張強さ変化率(%)	6	-30以内	
		伸び変化率(%)	15	50以内	
	安全性	揮発性物質放散量	ホルムアルデヒド(mg/L)	平均値:0.1以下 最大値:0.1以下	平均値:0.3以下かつ 最大値:0.4以下
		有害物質溶出量	カドミウム(mg/L)	0.01以下	0.01以下
鉛(mg/L)			0.01以下	0.01以下	
水銀(mg/L)			0.0005以下	0.0005以下	
セレン(mg/L)			0.01以下	0.01以下	
ひ素(mg/L)			0.01以下	0.01以下	
六価クロム(mg/L)			0.05以下	0.05以下	

*試験方法は、JIS A 5741「木材・プラスチック再生複合材」に準ずる。
*表中のKankyo-woodIII数値は試験値であり、保証値ではありません。

耐候性

屋外にあるどのようなものも紫外線や風雨による劣化は防げません。しかしKankyo-woodIIIは原料に木粉とプラスチックを使用しているため、初期に軽度の耐食が見られますがその後の変化は少なく、変わらない美しさを提供いたします。

●サンシャインウェザーメーター試験による経年変化



耐腐朽性

繰り返す湿潤環境に耐えられず天然木は日々退廃していきます。

木とプラスチックの複合材であるKankyo-woodIIIは水分や湿度、腐朽菌やシロアリを寄せつけず、長期間衛生的にお使いいただけます。

強制腐朽試験

あらかじめ白色腐朽菌であるカワラタケおよび褐色腐朽菌であるオオウズラタケを培養した900ml容のマヨネーズ瓶にKankyo-woodIIとスギ辺材をセットし、12週間強制腐朽させました。耐腐朽性能の評価は、強制腐朽試験終了後の試験体の質量減少率を算出する事によって行ないました。

●12週間の室内強制腐朽試験による平均質量減少率(%)

	Kankyo-woodII	スギ辺材
オオウズラタケ	-1.6%	37.6%
カワラタケ	-1.1%	16.0%

JIS-K1571(2010)「木材保存材-性能基準及びその試験方法」に基づく性能

試験の結果、質量減少率は両菌ともマイナスの値を示し、肉眼的にも腐朽の徴候は全く認められなかったため、腐朽被害を受ける可能性は非常に低いと判断されます。

防蟻性

強制摂食試験

Kankyo-woodIIとスギ無処理試験体を飼育容器に入れ、シロアリ(職蟻150頭と兵蟻15頭と)を投入し、3週間静置した後の質量の減少量および減少率をはかりました。

●3週間のイエシロアリ強制摂取食試験による平均質量減少量(mg)および減少率(%)

	Kankyo-woodII	スギ無処理試験体
質量減少量(mg)	7.4mg	213.2mg
減少率(%)	0.2%	15.3%

JIS-K1571(2010)「木材保存材-性能基準及びその試験方法」に基づく性能

3週間後に兵蟻はすべて死亡し、食蟻の平均死亡率も高く、シロアリにとってKankyo-woodIIIは栄養源にはなりません。表面にわずかな食害が認められたものの、強度低下を引き起こすほどのシロアリの食害を受ける可能性は低いと考えられます。



Kankyo-woodII

スギ無処理試験体

耐滑性

天然木が濡れると滑りやすく、その目安として「滑り抵抗係数 (C.S.R値) の低下」が現在指標とされています。

安全性の目安とされるC.S.R値は0.4以下の場合に“滑りやすくて危険”と評価されており、Kankyo-woodIIも歩行時の安全性の評価として滑り性試験を実施しております。

C.S.R値が乾燥状態・湿潤状態どちらにおいても0.58～0.65となっており、どのような天候でも滑りにくく安全に歩行することができます。

表面の状態		試験方向	滑り抵抗係数 (C.S.R値)
乾燥状態	平滑面	長さ方向	0.59
	溝あり面	長さ方向	0.58
		幅方向	0.63
湿潤状態	平滑面	長さ方向	0.60
	溝あり面	長さ方向	0.60
		幅方向	0.65

試験方法：JIS A 1454（高分子系張り床材試験方法）17 滑り性試験
 試験体：Kankyo-woodII（デッキ床材）
 試験機関：（財）建材試験センター

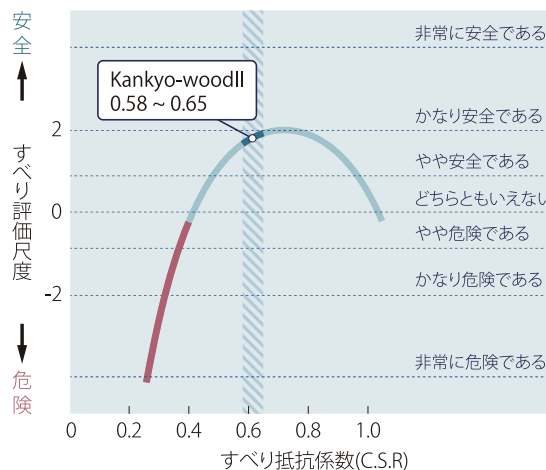
滑り抵抗係数 (C.S.R値) とは

滑り試験機により出力される数値は滑り抵抗係数 (C.S.R値) と呼ばれ、実際の人の歩行動作に伴う“滑り”を最も適切に表現できる評価指標として考えられています。

(C.S.R値の範囲は0.00～0.99で、値が小さいほど滑りやすく、大きいほど滑りにくいとされており、値が0.4以下の場合、“滑りやすくて危険”と評価しています。)

参考：優良住宅部品認定基準(財)ベターリビング木製デッキ床板の滑り抵抗性

紳士靴で歩行する場合の安全性の評価



東京都福祉のまちづくり条例施設マニュアルでは、建築物の床材のすべりの評価として、C.S.R(Coefficient of Slip Resistance) 値を定めています。

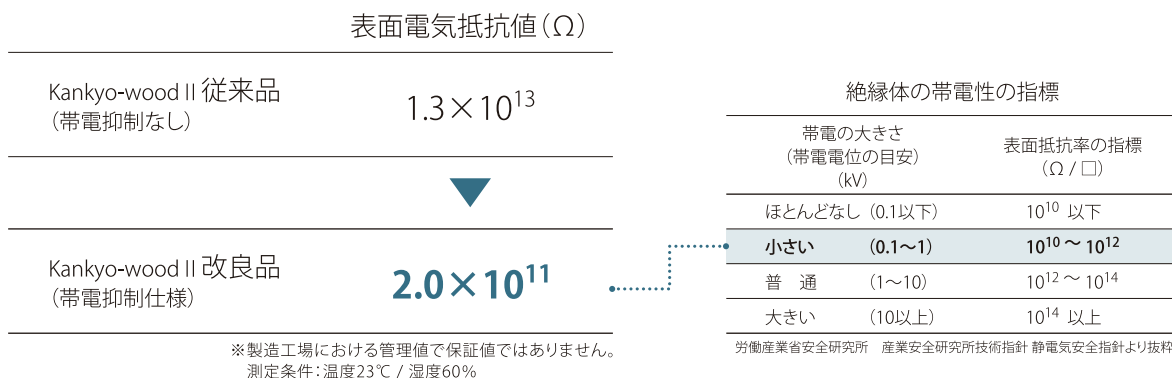
C.S.R値 (最小値:0.00～最大値:0.99)	
下足で歩行する部分	0.4～0.9
上足で歩行する部分	0.35～0.9
素足で歩行する部分	0.45～0.9
傾斜路部分	0.5～0.9

帯電性

世の中には電気を通す物質と通しにくい物質があります。Kankyo-wood II の原料の一つでもあるプラスチックは静電気を逃しづらく帯電しやすい物質です。

そこでKankyo-wood II は特殊な薬剤を練り込むことで帯電抑制加工を施しております。このことにより表面電気抵抗値を低くし、静電気の発生を抑えることができました。

金属に触れたときのパチッとくる痛みを感じることなく安心してご利用いただけます。



絶縁体の帯電性の指標が示すとおり、改良品の値は10¹¹Ω未満で帯電の大きさは「小さい」といえます。また前田工織独自の測定方法として“デッキ上を50歩歩いたあとに金属製品を手で触わる”という検証を行いました。帯電抑制のない従来品ではパチッと音がして指先に痛みが走りましたが、帯電抑制仕様の改良品では静電気を感じることはありませんでした。

弊社ではKankyo-wood III (デッキ材) の表面抵抗値の基準を全て10¹²Ω未満としており、静電気の発生を抑制しております。



静電気のしくみ

世の中のすべての物質は原子と原子の組み合わせであり、その原子には**一極**と**＋極**の陽子で構成された原子核が含まれています。通常は**一極**の電子と**＋極**の陽子の数が等しく、電氣的に中性の安定状態(0V)が保たれています。

2つの物体が接近、接触することによって物質を**＋極**または**一極**に帯電を起こす現象のことを接触帯電といいます。

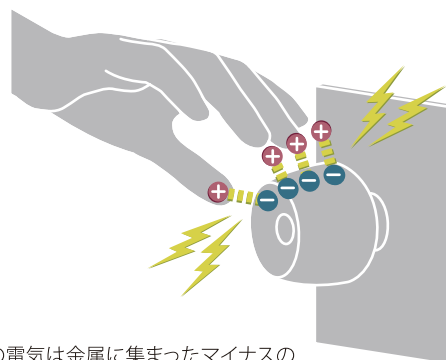
接触することによってそれぞれの原子にある電子が移動を始め、片方の物質から電子(－)が飛び出し**＋極**に帯電し、飛び出した電子は接触しているもう片方の物質に飛び込み**一極**に帯電することになります。これが静電気の発生です。

2つの物質が接触するときには必ず電荷の分離が起こり、静電気が発生します。

1 衣擦れや歩行によって摩擦が生じ、帯電します。



2 プラスの電気を帯びた人間の手は金属に近づくとその表面にマイナスの電気が集まります。



3 プラスの電気は金属に集まったマイナスの電気と結合しようとします。その瞬間放電が発生します。

Kankyo-woodII の特性

Kankyo-woodII を安全に永くご使用していただくために、下記の項目にご注意ください。

色について

- Kankyo-woodII は、リサイクル素材の為、原材料に起因する色調限度範囲内の表面色のばらつきがあります。微妙な色の違いにつきましては予めご了承ください。
- 表面をサンディング加工しておりますので、芝目のように長手方向に順目・逆目が存在し、光の当たり方や見る角度により色合いが部分的に違って見えることがあります。
- 表層部をサンディング加工した際や、ご使用中における表面のこすれ等により発生した粉が衣類等に付くことがありますので洗濯物や布団などが直接触れないようにしてください。衣類等へ粉が付着した場合は、洗濯機での通常の洗濯で落とすことができます。（※衣類の種類、使用環境およびクリーニング法によっては、落ちにくい場合もございます。）
- Kankyo-woodII は、天然木を使用していますので表面に付着した削り粉や、削られた表面から木の成分が雨水により染み出す場合があります。品質には問題ありませんので安心してご使用ください。また、土間や壁に付着した場合、中性洗剤で速やかに洗い流してください。

退色について

- Kankyo-woodII は、リサイクル木材とリサイクルプラスチックを原料としたリサイクル素材です。天然木に見られるように雨や太陽光の影響により初期段階で表面層から徐々に退色・劣化していきますが、その後の変化が少なく、高い耐候性があります。

カビについて

- 設置環境によっては、表面にカビが発生する場合があります。
- カビが発生した場合には裏面のお手入れ方法、「雨シミ・表面の汚れ」や「頑固な汚れ・黒い斑点」を参考に表面を洗浄してください。

使用上の注意

製品を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

汚れについて

- 汚れは使用環境に大きく影響されます。汚れが付着したときは、頑固な汚れになる前に清掃等を行なってください。
- デッキに空き缶や鉄製の物等を直接置いて長時間放置しないでください。鉄の錆等でシミが生じる恐れがあります。
- 表面に灯油やガソリン、有機溶剤等が付着した場合はすぐに拭き取ってください。変色・変形の恐れがあります。

燃焼について

- 本製品は不燃材としての認定は受けておりません。
- 本製品は可燃性であり、天然木が燃えるような条件下では燃えてしまいます。本製品の上で火を燃やしたり加熱したりすると、燃えたり変形したりしますので絶対におやめください。また、バーベキューコンロ等、高温になる物を置いたり、周辺での火気の取り扱いには充分にご注意ください。変形、変色、破損の恐れがあります。
- 自己消火性を有していませんので万一着火した場合は水散布または各種消火器にて消火してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないようにしてください。熱による部材の変形・劣化の恐れがあります。
- 本製品が燃焼しても塩素系の有毒ガスは発生しません。

表面温度について

- 直射日光により床材が高温となっている可能性がありますので、デッキ上ではスリッパ及び上履きをご使用ください。特に幼児や小さいお子様が使用される時は十分注意してください。

熱伸縮について

- Kankyo-woodII は、木と樹脂の特性を持ち合わせており、温度差や湿度差等の自然条件による伸縮や反りは使用上支障をきたさないよう考慮されております。また、施工上及び使用上、問題のない範囲で反りや曲がり、寸法公差範囲内にある製品が納入される場合がありますので予めご了承ください。

荷重について

- 人が歩行するデッキ材ですので、車両（自動車、自転車、オートバイ、重量のある台車等）の通行する個所には使用できません。
- 重量物を置く場合は、荷重を集中させないよう大きな敷板等の上に置くようにしてください。
- 重量物を落とさないようにしてください。特に木口や角部が衝撃により割れや凹みが発生する恐れがあります。
- 重量物を長時間載せたままにしますと床板が曲がる恐れがあります。
- 強い衝撃を与えるような、飛び乗りや飛び降りをしたり、ぶら下がったりよじ登ったりしないでください。ケガをしたり、製品が破損する恐れがあります。

その他の注意事項

- 本製品は原材料にプラスチックが配合されているため使用環境や摩擦（歩行等）により静電気を帯電する場合があります。
- 製品の特性上、隙間（目地）をあけた施工となっておりますので指を挟まないようにご注意ください。
- 雨や散水後は滑りやすくなりますので歩行には充分ご注意ください。
- Kankyo-woodII には、取付けや使用に支障が無い程度に反りやねじれがある場合があります。あらかじめご了承ください。
- 取付け公差や製造公差、又は経年変化により、デッキに雨水がたまる場合がありますが性能上問題はありません。
- デッキ面を傘等先端の尖ったもので突かないでください。破損や変形の恐れがあります。
- 天然木に比ベトゲやササクレもなく、腐ることもありませんので防腐剤処理の必要はありません。市販されている木製品用のメンテナンス製品が適合するとは限りませんので予めご了承ください。

お手入れについて

本製品は天然木と比較してメンテナンスの必要が少ない素材ですが使用環境（雨、雪、散水等）によっては製品表面に部分的にシミが残ることがあります。長時間放置しておきますと、汚れがシミ状に残ったり黒い斑点の原因となりますので早めに洗浄してください。また、工業地帯や海岸近く等では状況によりメンテナンスの回数を増やしてください。

お手入れの際の注意事項

- 濃酸、濃アルカリ、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類等は使用しないでください。もし付着した場合はすぐに拭き取ってください。変色・劣化の原因となることがあります。
- お手入れには布やスポンジ等の柔らかいものを使用してください。磨き粉、固いたわし、金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の粗いやすり等は使用しないで下さい。
- 清掃後は洗剤をきれいに洗い流してください。洗剤が残ると変色などの原因になることがあります。
- 小石や砂等が付着したまま表面を擦ると傷がつきますのであらかじめ取除いてください。
- 高圧洗浄機での洗浄も可能ですが、水圧によっては製品の木目加工に影響を及ぼしたり、製品表面に跡が残る場合がありますので影響のない部分（製品端部等）で状況を確認した後、行ってください。

日々の手入れ

- 本体の清掃は目安として年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。
- 定期的な水洗いと、乾拭きだけでも効果的です。

軽い汚れ

- 材料の長手方向に沿って柔らかい布かスポンジで水拭きした後に乾拭きしてください。

強い汚れ

- 中性洗剤を水で希釈して薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから乾拭きしてください。

メンテナンスについて

- 目地がゴミによって塞がれると水はけが悪くなり、製品に悪影響をおよぼす可能性があります。目地隙間間隔の確認をしてください。
- ボルト・ナット・ネジなどは絶対に緩めないでください。定期的に緩みの点検を実施してください。
- 台風や地震などの天災後には、製品が破損または安全に支障をきたす異常がないか点検を行ってください。

お手入れ方法 | 汚れの種類と清掃方法



キズ・こげあと

キズやこげあとはサンドペーパーで擦ることにより目立たなくすることができます。

表面の汚れを雑巾等で拭き取った後、汚れ及び傷部分をサンドペーパー（＃24～40）で長手方向に擦り、傷を取り除いてください。局部的に強く擦らずに全体をほかすように数回擦るときれいに補修できます。最後に表面の削り粉を清掃してください。（表面を擦ることにより初期の色と若干色が異なることがあります）



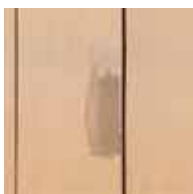
サンドペーパーにて表面研磨後



雨シミ・表面の汚れ

頑固な汚れになる前に洗浄してください。

台所用中性洗剤を所定の割合まで水で薄め、布等で汚れた箇所を部材の長手方向に擦るように拭いてください。最後に洗剤を水できれいに洗い流した後、乾拭きしてください。金属製のブラシは使用しないでください。ブラシ等での洗浄の際は汚れの落ち方を見つつ、過度に強く擦らないでください。



頑固な汚れ・黒い斑点

定期的な洗浄で汚れを防ぐことはできますが、ついてしまった頑固な汚れには漂白剤を使用してください。

漂白剤を所定の割合まで水で薄め、布等で汚れた箇所を部材の長手方向に擦るように拭いてください。最後に漂白剤を水できれいに洗い流した後、乾拭きしてください。



漂白剤の取扱いにはご注意ください。